



『人類に奉仕するロータリー』 Rotary Serving Humanity

RI会長 ジョン・ジャーム 第2590地区ガバナー 高良 明

# 川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA. R.C. WEEKLY / 2016~2017

会長・戸張 裕康 幹事・都倉八重子 会場監督・江口 進 会報委員長・小泉 正博

事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104

TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rc.com

◆例会場 ホテル精養軒 第1・第3木曜日 PM12:30~ 第2・第4木曜日 AM7:30~ TEL:044-711-8855

## 第1404回 (本年度42回) 早朝例会

平成 29年 6月 8日 (木)

点 鐘  
司 会  
斉 唱  
ご挨拶

戸張 裕康 会長  
江口 進 会場監督  
「4つのテスト」

石塚 勝 様

(国際ロータリー第2590地区ガバナー補佐)

ガバナー補佐の石塚様より、今年度を振り返りながら、退任のお言葉を頂きました。また、石塚様より、次期ガバナー補佐の内藤様をご紹介頂きました。内藤様は、ロータリー歴29年。1988年10月に入会し、地区研究グループの活動に積極的に従事され、2010年にクラブ会長。2016年にクラブ副会長を務めました。本日が、偶然にも内藤様の誕生日とのことです。



内藤 幸彦 様

(国際ロータリー第2590地区次期ガバナー補佐)

今日は、朝から元気のいいロータリークラブに参加できたと感じております。来期は6クラブそして地区とも友達関係を深めていくため活動していきたいと思っております。

小川 湧三 様 (川崎鷺沼 RC)

倫理法人会の早朝例会が終了後、当クラブの早朝例会にご参加頂きました。小川様、ありがとうございます。

会員出席報告 神谷 直 親睦委員

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	28名	21名	7名	84.00%
前々回(5月20日)	欠席2名		Make up 0名	96.43%

欠席者：坂本会員、坂口会員、高木会員、渡久地会員

◆石塚 勝 様

(国際ロータリー第2590地区ガバナー補佐・川崎鷺沼 RC)  
退任のご挨拶に伺いました。本年度一年間大変お世話になりました。

◆内藤 幸彦 様

(国際ロータリー第2590地区次期ガバナー補佐・川崎中 RC)  
以前、GSE でアメリカでは早朝例会に出席したことがありました。日本での早朝例会出席は本日が初めてです。新たな挑戦をして更なるご盛会に結びつくようにみんなで頑張っていきましょう。

◆戸張 裕康 会長・都倉 八重子 幹事

昨日、無事にドイツ大使館へ行き、寄付金他を届けてきました。通訳のオスティンさんは、メルケル首相の通訳もされているとのことで、とても良かったです。本日の卓話に小林様にお招きしております。楽しみにしております。徳安さん、ありがとうございます。

◆山田 一之 会員

ドイツ難民支援、RC の応援有難うございました。会長、幹事、河合さん、徳安さん、市川さん各氏の応援も又有難うございました。大使も喜んで受け入れて頂きました。

◆小泉 正博 会員

石塚ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。そして、一年間お疲れ様でした。また、内藤次年度ガバナー補佐、よろしく願います。

◆市川 功一 会員

ガバナー補佐の石塚様、一年間ありがとうございました。また、来期は地区の国際奉仕委員会でお世話になりますので、よろしく願います。

◆徳安 久是 会員

小林さん、今日は早朝からありがとうございます。昨日はドイツ大使とお会いし、難民への寄付をして参りました。我ロータリークラブの国際情勢に関する理解への協力、ありがとうございます。

◆親睦委員会一同

今年度の活動も、あと少しになってきました。来年に向けて、残りの活動も充実させていきたいと思います。

◆SSA一同

本日は、朝早くから日本ユニセフの小林様、ようこそお越し下さいました。今年度最後の精養軒例会、襟を正して頑張ります。

「みんなニコニコ」

若狭 滋則 会員・工藤 和弘 会員・会田 公雄 会員  
島田 淑昌 会員・高瀬 建夫 会員・内藤 松雄 会員  
山本 剛 会員

ニコニコボックス	本日	23,000円	累計	754,200円
記念日ニコニコ	本日	0円	累計	135,000円

## 会長報告 戸張 裕康 会長 (6月22日)

### 1. 地区からの来信

- ①地区ホームページリニューアルのお知らせ  
URL <http://rid2590.jp> ぜひご覧ください。
  - ②2017-18 年度 地区拡大増強セミナー開催のご案内が届いております。  
日時：2017年7月10日(月) 15:00-17:30  
場所：メモワールプラザソシア21  
※出席依頼：2017-18 年度 会長と会員増強委員長  
クラブ作成のパンフレット(会員候補者に説明する際に使用するもの)3部 持参
  - ③2017-18 年度 クラブ研修委員長会議開催のご案内が届いております。  
日時：2017年7月13日(木) 15:00-17:00  
場所：メモワールプラザソシア21  
※出席依頼：研修委員長(欠席の場合は代理手配)
2. 他クラブ例会臨時変更、他クラブ会報の回覧とも本日はございません。

### 【委員会報告】

次回例会は、7月6日(木) ホテル精養軒 点鐘12:30  
例会前11:00より、定例理事会を開催致します。  
理事・役員各位のご出席をお願い致します。

## 卓 話 小林 和香子 様

日本ユニセフ協会広報担当

「パレスチナ支援 現状と課題」

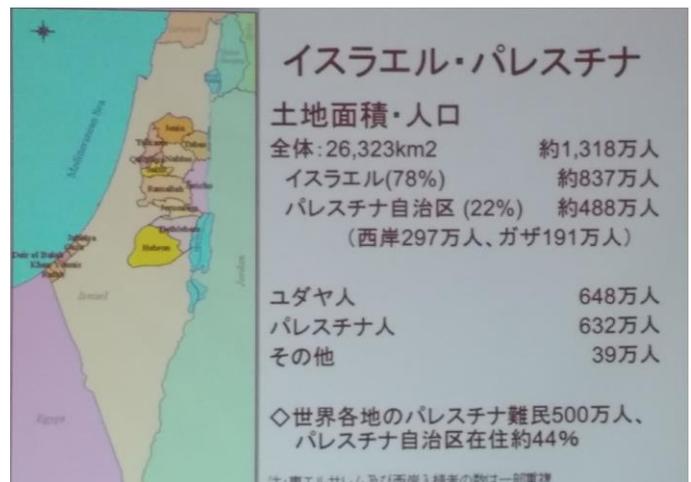
おはようございます。ご紹介頂きました小林和香子です。徳安先輩とは大学で同じゼミで、とてもよくして頂きました。私は、パレスチナの方で日本国際ボランティアセンターから始まり、約7年を過ごしました。本日はお時間を頂けるということで、パレスチナのことをお話させて頂くのと、そこで行われている活動、現地のボランティアについてもご紹介したいと思います。

パレスチナ自治区というのは全体の22%。こちらの色のついている所が西岸とガザ地区という所でパレスチナ人の住んでいる所です。国際法的にはイスラエルの軍事占領下に今でもあると定義されている地域です。実はパレスチナという地域はすごく自然の豊かな場所ですし、春には緑のカーペットが一面になるように雨量もありますし、夏は結婚式シーズンということで結婚式が盛大に行われ、秋はオリーブの収穫期になっていまして、その時期は家族そろってオリーブ摘みを手伝うというのをしています。冬になれば雪も降ります。これはエルサレムで雪が降ったときの写真です。左上にありますのはガザの海岸、地中海に面しています。右がナツメヤシです。パレスチナというのはすごく歴史が古い場所です。何千年も前から文化の交流地・交差点ということで、下はビザンチン時代の遺跡です。ガザにも西岸にも遺跡が多数ありまして、勿論エルサレムは三大宗教の聖地として遺跡が残っています。

近代の略歴を見ますと、皆さんもご存知のように、1948年にイスラエルが建国を宣言して、それによって第一次中東戦争が引き起こされ、歴史的なパレスチナは分断されて、パレスチナ難民が大量に発生しました。パレスチ

ナ難民は世界で500万人と言われております。その後何回か戦争があり、1987年に第一次インティファダという、パレスチナ人たちが非暴力の民衆蜂起して、オスロ和平プロセスに繋がりましたが、残念ながらパレスチナの国造りという意味では和平合意には未だに至っておりません。和平交渉を続けなければいけないところですが、イスラエルが西岸とガザを壁で囲むという政策に出て、イスラエル側とパレスチナ側が分断され通行できない状態になっております。また、度重なるガザへの軍事攻撃がなされ、人道的被害が大きくなっております。

軍事占領というのはどういうものかといいますと、西岸の中では、地域がA地区・B地区・C地区3つに分かれており、A地区はパレスチナ自治政府が行政権および治安権の両方を持っているのですが、全体のパレスチナ側の中の20%に満たない地域です。それ以外のB地区・C地区では原則、建物を建てるのも水を汲むにもイスラエル軍の許可がないとできない場所ということになっていまして、それが約8割になっています。いま大変問題になっていて和平交渉のネックになっていると言われてるのはB地区・C地区にイスラエル人の入植者がドンドン入り込んでいて、土地を取ってしまう。そのこと事態だけでも問題なのですが、さらに問題なのは、西岸に移り住んだ入植者達にはイ



スラエルの法律が及ばないということで、例えば西岸の中に工場を作れば汚水を垂れ流すとか、全く規制されていないことが問題になっています。この写真が入植地ですが、丘の上に密集した住宅を作っています。これが入植者といわれる方々ですが、自分達が使いたい土地のパレスチナ人を威圧して追出して、そこを自分達の土地にしていくということが行われています。これは入植拠点といわれるものです。最初はトレーラーのようなものを持ってきて一角を占拠します。それが、気がつくと先ほどのような入植地へとどんどん拡大をしていく。そしてそこに、入植地を取り囲みこむような形で分離壁が建設されてきています。

分離壁というのは、コンクリートできている高さ8mぐらいの壁であったり、電熱フェンスであったりします。多くの農民達が土地をイスラエル側に取られてしまっているの、自分の土地に行くにも許可が必要ですが、その許可が半年で切れてしまうと更新ができないという被害が相次いでいます。

パレスチナ人はいろんなイスラエルの政策に対してユーモアで立ち向かうというところがあって、壁にグラフィティを書いたりしながら、ささやかな抵抗を続けています。

壁ができてしまうということは、できる前から検問所があり、ありとあらゆる人と物とお金の流れは、軍事占領しているイスラエル側に管理されているのですが、それが更に、分断されました。一人として物とお金の移動が制限されている中では開発ができないということを国連機関が押しなべて言っているところす。そういう中でどうやって活動していくかということが私達に課せられている大きな問題です。

東エルサレムは壁によってイスラエル側に組み込まれてしまっている所で、西岸やガザと分断されてしまったということで、大きな痛手を被っています。もともとイスラエル側が併合したとしている地域ですが、インフラが十分でなかったり、学校が足りなかったり、家の増築や改築もできないということで、ドンドン生活が圧迫されていて政治的な運動をすると永住権が剥奪されることもあり、東エルサレムは経済が崩壊していると言われていています。経済的な理由で土地を追われる人、あるいは永住権を剥奪されて東エルサレムを出なければいけない人が増えています。

これも東エルサレムに建設されましたイスラエル人入植者のため入植地です。街中でもいろいろな家が占拠されています。旧市街の中ですが、ムスリム地区の中でも多くのユダヤ人が入り込んできています。許可が取れなくて増築しようとした家はこのように破壊されています。

次はガザです。ガザも本来地中海に面したすごく豊かな土地ではあるんですけども、ガザも完全に分離され封鎖されています。ガザの場合は本当にこの封鎖が厳しくて、開発のための資材、コンクリート、ガラス、パイプといった物は殆ど入らない。イスラエル軍が国境を管理しているので入れることができない。更に人道支援といっても、食料や栄養治療食も全てイスラエル軍の許可を取らなければならないという状態になっています。今一番問題となっているのは、電力が入らない。発電するための燃料も入らない。その電力施設自体も部品が磨耗していて、修理できないので、ガザの家庭で電気が通るのは1日で4時間程度となっています。それに更に、追い討ちをかけて燃料が入ってこないということで、その電気が来ない時は、病院ではジェネレータをオイルで回すんですが、そのオイルも今入ってこない。備蓄がなくなってしまうというかなり危機的な状況にあります。

一つすごく悲しい事件が2007年に起きています。これは、電力が入ってこない、燃料も入ってこないという状態の中で、汚水処理施設が動かなくなって、汚水処理をするために貯めていた汚水の池が決壊して洪水がおき一つの村が呑み込まれました。本当に人為的なために悲惨な状況になったという出来事が今のガザの状況をよく表していると思います。

軍事攻撃でもかなり定期的な被害を受けまして、右側(写真)は病院ですが病院も攻撃されますし、モスクのミナレットという教会の一番上の部分ですね。ここです。ガザの何十とあるモスクのその部分が破壊されています。コンクリート工場も破壊されています。そこで家を失った子供達です。

パレスチナで、日本国際ボランティアセンターと国連開発計画、そしてJICAのパレスチナ事務所では企画調整員として仕事をしていました。現在は、現地で活動

はしていませんが、ユニセフの活動に係らせていただいています。この表は、それぞれの団体がどのような支援をしているかということを見ていただきたくて作りしましたが、赤字が、私が携わったプロジェクトです。やはり多いのは保健・栄養であったり、子供の保護あるいは教育・文化、水と衛生、それから収入創出・職業訓練、あとは平和構築という分野です。全てをご紹介できないので、代表的なプロジェクト、またボランティアの活動に支えられなが

活動を支える  
ボランティアとサポーター

- ・ 国連機関(UNDP/UNICEF): 国連ボランティア・インターン(国際・国内スタッフ)
- ・ 国際・現地NGO(主に医療・人権): ボランティア・インターン(国内外)
- ・ 日本国内ボランティア(JVC/日本ユニセフ協会・協定地域組織25組織)
- ・ 国内サポーター  
➢ ボーイスカウト・ガールスカウト、  
企業・個人の方々

ら行っているプロジェクトをご紹介しますと思います。

代表的なプロジェクトとして母子保健の分野で母子手帳プロジェクトをJICAとユニセフ、いろんな機関と、勿論パレスチナ政府もなんですが、行いました。これはいわゆる日本の母子手帳の制度ですけれども、それをパレスチナに合わせた形で作り直して、パレスチナ全土に広げていくということで、難民キャンプにも届けています。勿論、手帳を作ることだけでなく、ちゃんとその手帳を使ってお医者さんと看護師さんが十分な対応ができるようにということで、例えばお医者さんに対して超音波の技術を、JICAの専門家の産婦人科の先生が指導したり、看護師さんに対しても、整った施設や設備がない中でもちゃんと診断ができるようにといった研修も同時にしてまいりました。

東エルサレムの学校保健プロジェクトで健康診断に行った様子です。ドクター・ラムジーという方は、このプロジェクトで私3年間一緒にやらせていただいたんですが、もともとこの先生は東エルサレムの方で、ロシアで医学を学んで東エルサレムに帰ってきた先生です。実はスラエルの病院に勤めていたんですが、病院に勤めながらこのプロジェクトをやっていたパレスチナ・メディカル・リリーフ・ソサイアティという所があるんですが、医療NGOなんですけれども、彼はズットそこで働きたいということで、お医者さんをしながら、そのNGOで、5年ぐらいボランティアをされていました。今回学校保健のプロジェクトが立ち上がるということで病院をやめて、プロジェクト専属のお医者さんとして入っていただきました。一緒に3年間やりました。

ガザのプロジェクトとしてJCVもユニセフも取り組んでいる栄養不良児のための栄養改善です。ここも殆どのスタッフの方は、プロジェクトとして支援がついたときだけお給料がもらえるという形を取ってしまっていて、プロジェクトも私達も通常は1年とか2年とかいう単位でお金をつけるんです。そのついで期間はお給料を貰えるんです

が、つかないとスタッフの方達にはお給料が払われず、結局ボランティアになってしまうんですが、お金がつかないから辞めるということはまずないので、彼らはなくても仕事を続けていっています。

また、幼稚園児に対する栄養改善プロジェクトも実施しております。幼稚園児に対してビタミン、栄養を強化した牛乳を配るんですが、ただ配るだけではなくて、例えば、手洗いとか衛生についてのいろんな教育を進めています。

ユニセフが行っているあまり知られていないプロジェクトが、水と衛生の分野です。子どもが栄養不良になる大きな要因は汚れた水ということで、ガザに関して人口が多すぎて、水源に海水が入ってしまい、すごいしょっぱい水で、水道はあるんですが、飲料には適さない。それで、淡水化プラントというのを設置しました。これはできたばかりです。本当に開発支援に必要なパイプですとか鉄ですとかコンクリートが入らない中で、ユニセフがこれを作れたというのは奇跡としか言いようがないです。ガザ全域には回らないんですが、約4万5千人の方にきれいな水を使っていただけるようになりました。大きいプラントではなくても、小さな井戸の修理ですとか、タンクの修理というようなこともパレスチナ各地で担っております。

教育の分野でもJICAは日本の政府の支援で学校の建設の方をやっています。ユニセフの方は、ダメージを受けた校舎の修理ですとか、学用品の提供ですとか、不発弾もガザには沢山あるのでそういうものに対する教育などをしております。

ユニセフがもう一つ力を入れているものは子どもの保護という分野です。やはり紛争地ですので心に傷を負った子供達が沢山いて、そういう子供達が何とか健康に、よりいろんなことを乗り越えられるようにということで心理社会的ケアというものをズット行っています。これはガザの様子ですが、東エルサレムでもそのような活動しております。

もう一つ私がJVCの時に行なっていました活動は、ベツレヘムにあります難民キャンプで文化センターの立上げを支援しまして、そこに女性センターを設立して、女性達に刺繍製品を作っていただきました。それを日本で売って、収入喪失を助けるという活動です。先ほどもご紹介しましたとおり、パレスチナというのはとにかく物の移動が制限が厳しいので、経済活動は本当に限られていて、少しでも収入を増やすということはすごく大切なプロジェクトになっています。

JICAでもガザの小さなプロジェクトを担当させていただきました。その中でも女性のカメラマンの養成コース、3ヶ月のコースなんですが、ここで20名ほど女の子たちをビデオカメラマンとして養成しました。卒業生全員が何らかの形で仕事を得ることができました。アブの国、パレスチナもそうですが、結婚式をするときでも、男性の披露宴、女性の披露宴と分かれるので、カメラマンが男性しかいないと女性の披露宴の方に入りづらいので、女性のカメラマンもニーズがあるということで、比較的うまくいったプロジェクトです。

先ほども少し触れさせていただきましたが、現地での活動というのはボランティアなしでは回らない形になっ

ています。私がいまして国連開発計画UNDPでも、私自身こちらで1年間、国連ボランティアとして働かせていただきましたし、ユニセフにも国連ボランティアの方が何人もいらっしゃいます。それから、パレスチナの経済がなかなか発展しないことで失業率がすごく高く、特に若い人たちは大学まで出られても仕事が見つからないという方が多くて、そういう方達が仕事を得られるまでの間、インターンとしてあるいは、ボランティアとして活動されることが当たり前のようになっています。ここにある写真は私がUNDPにいたときの同僚たちですが、全員2、3年のボランティア経験を経てから職員として採用された方々です。これは国連機関だけに限らない、現地のNGOでもやはりそういうボランティア期間を経て、何とかプロジェクト単位で仕事を得ることが、当たり前のようになっています。

それから日本国内でもボランティアさんに支えられています。日本ユニセフ協会でも

地域協定組織がいくつもあるんですけれど、全て合わせると何百名というボランティアの方達に日々私達もお手伝いをしていただいています。当然ボランティアだけでなくサポーターの方達のおかげで、私達は開発の仕事ができております。特にボーイスカウトの方達とかガールスカウトの方達というのは私達の募金活動においてはなくてはならない存在ですごくご協力していただいております。そして企業、個人の方々から多大なる募金をしていただいています。本日は皆様からもご寄付をいただけるということで、本当に感謝しております。以上で私からの報告は終わります。ご清聴ありがとうございました。



## 【ロータリーを学ぶ】

### 「ロータリー親睦活動は 国際奉仕」

6月はロータリー親睦活動月間です。日本のロータリアンは、これをクラブにおける親睦活動と混同、誤解して、本来の意味を理解していない方が大多数のように思います。ロータリーの基盤は親睦(Fellowship)と奉仕(Service)にあつて両者を結びつけるのが寛容(Tolerance)だと創設者ポール・ハリスが語っています。両者は両輪として直進し、最初の動力伝達は親睦からと言葉も残しております。親睦は意義あるロータリー活動の原動力であることを認識し、単にクラブに関してのみ限定されるものではなく、広く世界に友情と親交の輪を広げるための全ロータリアン対象のロータリー親睦活動があることを衆知されたく思います。

ロータリー親睦活動はRIの国際奉仕部門における常設プログラムです。国際奉仕という、ともすれば従来の世界社会奉仕(WCS)に代表される人道的ボランティア活動であるかのように思われる傾向があります。しかしながら、国際奉仕はロータリーの目的第4項の表現を借りれば、「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」とあるように、ロータリー親睦活動はその一環であります。

6月のロータリー親睦活動月間に因んで述べますと、2014年初め、RFは64のグループがRIに登録されています。日本ではその数は少なく、ヨット、囲碁、切手収集、ランニングとフィットネス(IFRFR)などがあり、趣味とレクリエーションによりそれぞれの目的は異なりますが、すべてのグループが同じ哲学や根底にある思想すなわちロータリーの精神を共有して、世界的規模で活動しております。世界的に新たな友情を育み奉仕の機会を増進するために、ロータリアンと配偶者、ローターアクターのために組織されているのであります。ロータリー親睦活動(RF)についてはRIのウェブサイトでご覧になったり国際大会のブースなどの活動を見て仲間を世界中に見つけて楽しんでみませんか！

親睦はロータリーの雰囲気の中でますます深まる。ロータリーでは形式や気取りを去り、身分や地位に関係なく対等の立場で交わるからである。(ポール・ハリス)

(2014年6月6日)

(源流の会：ロータリアンの広場より一部抜粋)

## ドイツ大使館訪問報告

日 時 2017年6月7日 15時から  
訪問者 戸張会長 都倉幹事 徳安国際奉仕委員長  
山田会員



目 的 ドイツ難民救済のための寄付  
相手対応者 ドイツ大使 ハンス・カール・フォン・  
ヴェアルテン 閣下  
寄付金額 国際奉仕委員会から5万円  
ロータリー有志から7万円  
合計12万円



ドイツ大使館に訪問し寄付贈呈、30分近い会談のなかで、「ドイツ国家予算と我が国赤字財政との異同(仮)」のテーマで大使からご教授賜る話が進み、大使からも大使館へ是非来てくださいとのご招待を受けた(訪問するか否かは今後の理事会等で検討するものとして持ち帰り)。

## 【プログラムの予定】

6月22日(木)	田園調布倶楽部	18:30~20:30
	ファイナル例会	
7月6日(木)	H精養軒	12:30~13:30
	木槌引渡し、会員お祝い、新任挨拶	
7月20日(木)	H精養軒	7:30~8:30
	早朝例会 クラブ協議会	